

特色ある“学校づくり”を目指して!!

みんなで協力して「朝の読み聞かせ」



中小屋小学校

(11月25日)



中小屋小学校の児童は、毎週金曜日の朝の「読み聞かせ」の時間を楽しみにしています。

夏の間は、読み聞かせをボランティアの方に読んでもらっていましたが、冬期間は、2年生から6年生の児童全員が順番に読み手を務めます。

町教育委員会のホームページ

<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/kyou-kyouiku.htm>

「読み聞かせ」の目的は、「本を選ぶ力」「情景や登場人物の気持ちを表現する力」「練習する意欲」を育てることです。本を選ぶことから表現の方法や練習も自分たちで考えます。

聞き手に本を見せながら読むことは、難しいことですが、練習の成果を発揮してみんなの心を引き付けて読むことができました。読み終わったときに、大きな拍手が沸き起こり、どの子も満足した表情を浮かべていました。

外国の人と交流して世界を知ろう



蕨岱小学校

(11月29日)

蕨岱小学校では、総合的な学習の中で国際色豊かな人間性を身に付けようと国際理解教育に取り組んでいます。

児童たちは、当別町英会話指導助手のマーティン・マッキニーさん（イギリス出身）と年に6回楽しいゲームなどを通して英語に親しみます。

11月には、地球の反対側の国ブラジル出身の日系2世、吉永信夫さん（江別市在住）を招き、児童が自分で調べたブラジルの地形や祭り、花、魚など農業や産業について発表し、吉永さんからは、ブラジルの言葉や特徴的な文化の話などをしてもらい、児童たちは聞き入っていました。

「わらびっ子」13人は、マッキニーさんや吉永さんとの交流を通して、世界にはたくさんの国があり、日本とは違う文化があることを理解し、これからの国際社会で心豊かにたくましく生きる人間を目指して頑張っています。



雪に親しむ。今年もスキー学習を実施



当別中学校

(1月23日)

近年、保健体育の授業時間を確保するためにスキー学習を取り止める学校が増加しています。

しかし、本校では町内にスキー場がある利点を生かし、スキー学習を通して北海道に生まれ育ったことを実感したり、生涯にわたってウィンタースポーツに親しむ姿勢を育成することを目指しています。スキー学習は、クラスを技能別に少人数の5～6班の小グループに分け、体育科教師を中心にそれぞれの学年の先生が担当して実施しています。

日頃からスキーに慣れ親しんでいる生徒は大勢いますが、中には滑るところか歩くことさえまならない生徒もいます。そんな生徒たちが2日間のスキー学習を通して笑顔で滑ることができるようになると本人も指導者も大きな喜びを味わいます。



白熱した戦い (1月15日) 「新春子どもカルタ大会」

町子ども会育成連合会が主催して「新春子どもカルタ大会」を開催。町内各地区から小学生の部26チーム、中学生の部16チームが参加し、総合体育館を会場に約350人が熱戦を繰り広げました。

日頃から練習を積んできた子供たちは、読み手の声に集中して「ハイッ」と大きな声を上げながら元気に札を取っていました。

最後の一枚で勝負が決まるゲームもあり、応援の父母たちも力が入り、会場は熱気に包まれていました。

成績 **小学生の部** 優勝 太美スターライトA 準優勝 みどり野
3位 北栄町A、太美スターライトB

中学生の部 優勝 太美スターライト 準優勝 緑町 3位 蕨岱、弁華別



小学生の部優勝チーム



中学生の部優勝チーム

子どもスポーツ体験教室～ティーボール～ (12月29日)

町教委では、小学生・中学生を対象に様々なスポーツと触れ合い、その素晴らしさを体感してもらおうと「子どもスポーツ体験教室」を実施しています。

初日の12月29日(木)は、小学生、中学生と父親の20人が集まり、青少年活動センター「ゆうゆう24」のスタッフから「ティーボール」の指導を受けました。

バッティング練習では、最初、なかなかバットにボールが当たらずに苦労しましたが、アドバイスを受けながら繰り返し練習することで、ボールが前に飛ぶようになりました。

教室の後半では、みんなでティーボールの試合を通してさわやかな汗を流しました。

教室は、2月18日、2月25日、3月11日、3月18日(いずれも土曜)に総合体育館で行います。参加希望の方は総合体育館(☎22-3832)に申し込みください。



“食”シリーズ 好き嫌いをなくし、何でも食べよう

西当別小学校で、6年生の家庭科の1時間を利用して、食べ物についての授業をしました。食べ物を働きによりグループ分けしたり、普段の飲み物のカルシウム量の比較や1日に摂取しなければならない野菜の量を実物の野菜を使って測り、必要な量を目で覚えてもらうように指導しました。

また、“ご飯茶碗1杯に米粒がいくら入っているでしょう”など給食に関するクイズを交え、楽しみながら授業を進めることができました。何気なく毎日食べている食事ですが、成長期にいる子供たちが少しでも関心を持ち、考えて食べてくれたらと思います。

(給食センター学校栄養職員)

